



## 2. 指標設定

成果指標	指標名	安定的に飲料水が提供されている人口割合	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	62%			総合計画/後期基本計画において、基本施策(3-1-2)の目標としているため			
活動指標	指標	a	水質検査	b	老朽管の解消	c		d
	数値	目標	年12回	目標	随時	目標		目標

## 3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H20	H21	H22
安定的に飲料水が提供されている人口割合	%	56.2 %	56.6 %	55.6 %
		90.6 %	91.3 %	89.7 %

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a 水質検査	回	12 回	12 回	12 回
		100.0 %	100.0 %	100.0 %
b 老朽管の解消	%	100.0 %	100.0 %	100.0 %
		—	—	—
c				
d				

## 4. 課題と対応

課題
組合あるいは個人での水道施設ががあり、加入金や使用料等の経費の点から加入促進に苦慮している。また、水道事業統合を控えている。
対応(改善点等)
加入促進のため、施設維持管理面や安全性・安定性等を啓発していく。また、水道事業統合にむけた検討を始める。

## 5. 事業費・・・H20～H22(決算額)、H23(予算現額)

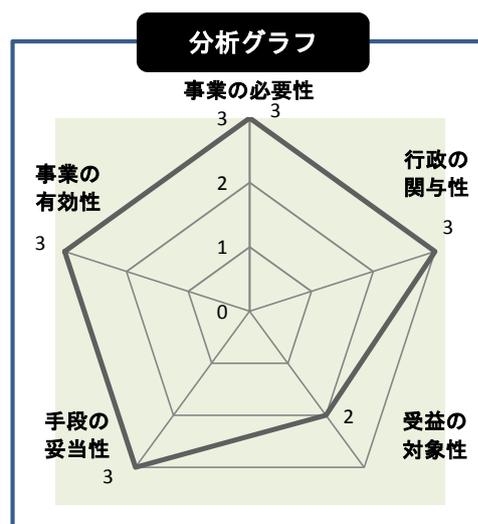
決算額(千円)		H20	H21	H22	H23
		376,409	335,130	356,615	310,727
うち経常経費		153,644	152,693	192,709	152,609
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	186,826	163,189	169,188	187,054
	一般財源	189,583	171,941	187,427	123,673
うち経常		153,644	152,693	187,427	123,673
事業費に係る人件費		—	—	—	—

## 6. H24年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
簡易水道事業の運営のため

## 7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 水の安全性の確保と安定供給が必要である
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 人口割合は法令では定めていないが、多くの市民に対し、安全な飲料水が安定的に供給する必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	2 未給水区域人口と配水工事との関係で市民全体の事業実施は不可能である
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 水の安全性の確保のための水質検査や安定供給のための老朽管の解消は適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3 目標どおりの成果が上がってきている、H22は朝地専用水道を加えたので一時的に人口割合が下がった



## 8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き未収金の回収に努めること